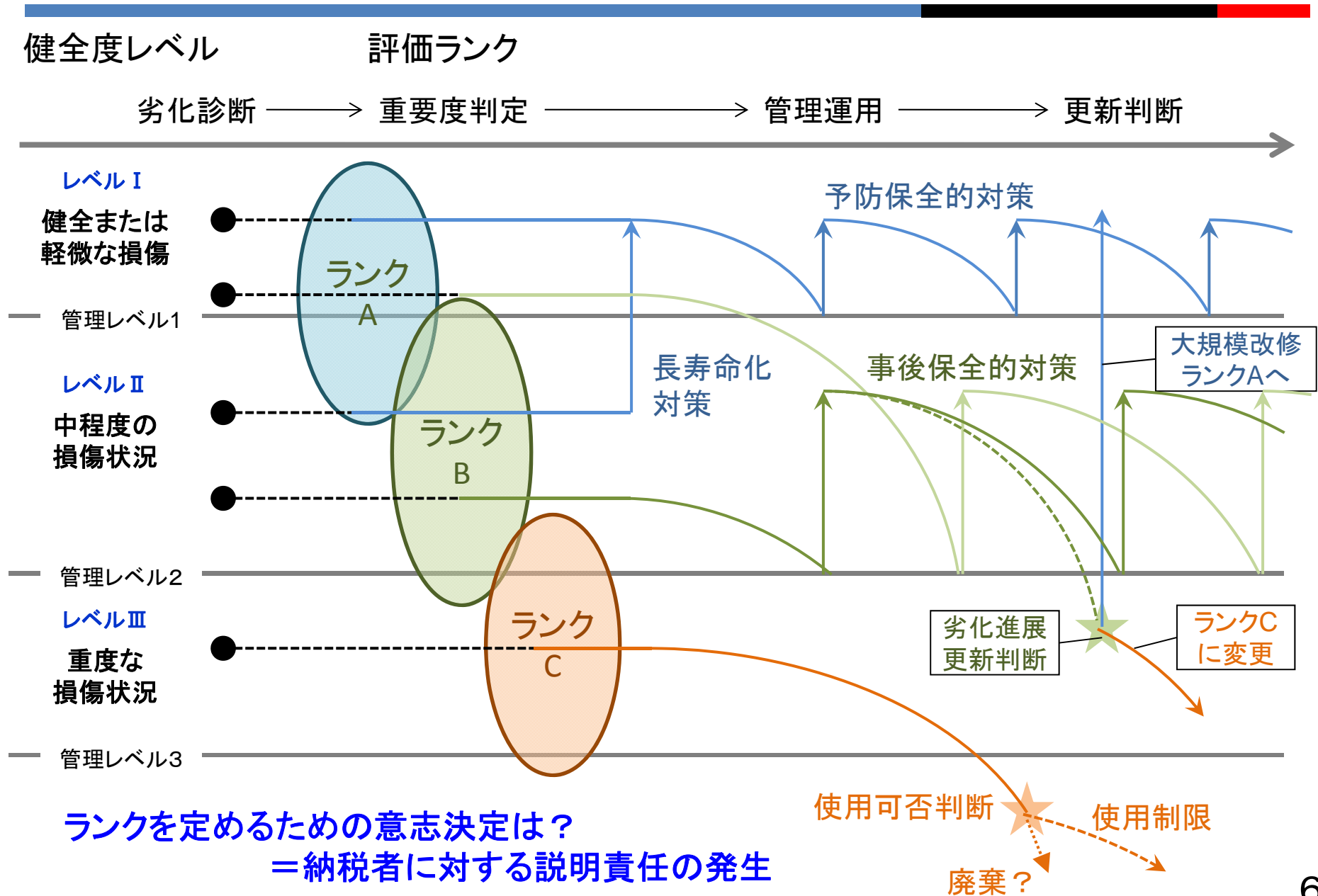


地方展開へ向けた一つの考え方 ⇒ 階層的評価

		評価ランクA	評価ランクB	評価ランクC
対象施設 (例えば)		<ul style="list-style-type: none"> 市街地都市計画道路 広域基幹道路 緊急輸送道路 1級路線（主要集落間） 	<ul style="list-style-type: none"> 一般道路 2級路線（中小集落間） 	<ul style="list-style-type: none"> A路線と近接，並進路線 集落内小規模道路 林間部利用限定路線
資産 管理	維持 管理	予防保全的対策= <u>レベル1</u> <ul style="list-style-type: none"> 高い管理レベルでの管理 早期の補修，補強の実施 	状態監視型の対策= <u>レベル2</u> <ul style="list-style-type: none"> 管理レベルを下げた予防保全 頻度を上げた点検による状態監視 	日常管理= <u>レベル3</u> 清掃，除草等，目視
	投資	長寿命化対策（初期） <ul style="list-style-type: none"> 耐震，耐荷補強 高耐久性材料による補修 耐荷性，耐久性向上による予防保全対策への移行	大規模改修（更新判断時） <ul style="list-style-type: none"> 拡幅等の機能向上 床版改修，取替 隣接のランクC路線の機能を統合し，対象路線はランクAに変更	改修整備（管理変更時） 民間，地域への売却を前提とした補修補強の実施
管理体制		<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者への包括管理業務発注 複数施設，長期継続業務	<ul style="list-style-type: none"> NPO組織への調査点検業務発注 頻度を増やした簡易診断 → 点検補助員や経験の浅い自治体管理者レベル マニュアルの整備とOJTは必要	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民参加型管理による管理費用削減 私道化，民間委託等による管理区分からの除外 既存不適格の場合は廃道

評価ランクに応じた管理運用

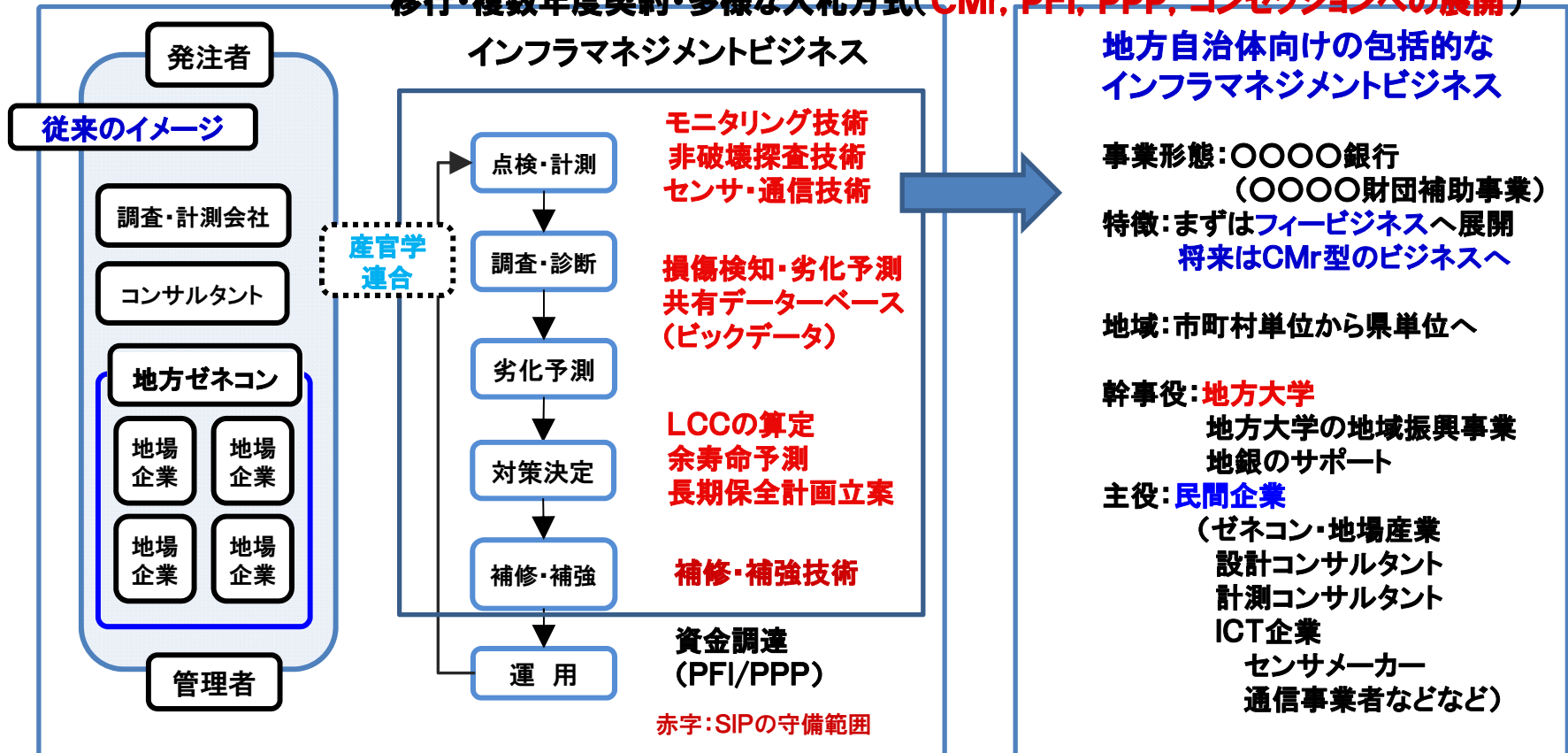


地方自治体のインフラ維持管理 ⇒ インフラマネジメントビジネスへ

インフラマネジメントビジネス (規制改革や新しい制度設計が不可欠, 特区制度の活用)

まず, 小さな成功例から! ⇒ 例えば, 公募により**インフラ特区**を定めモデル事業を「産官学」チームでスタート = **SIPの出口戦略**

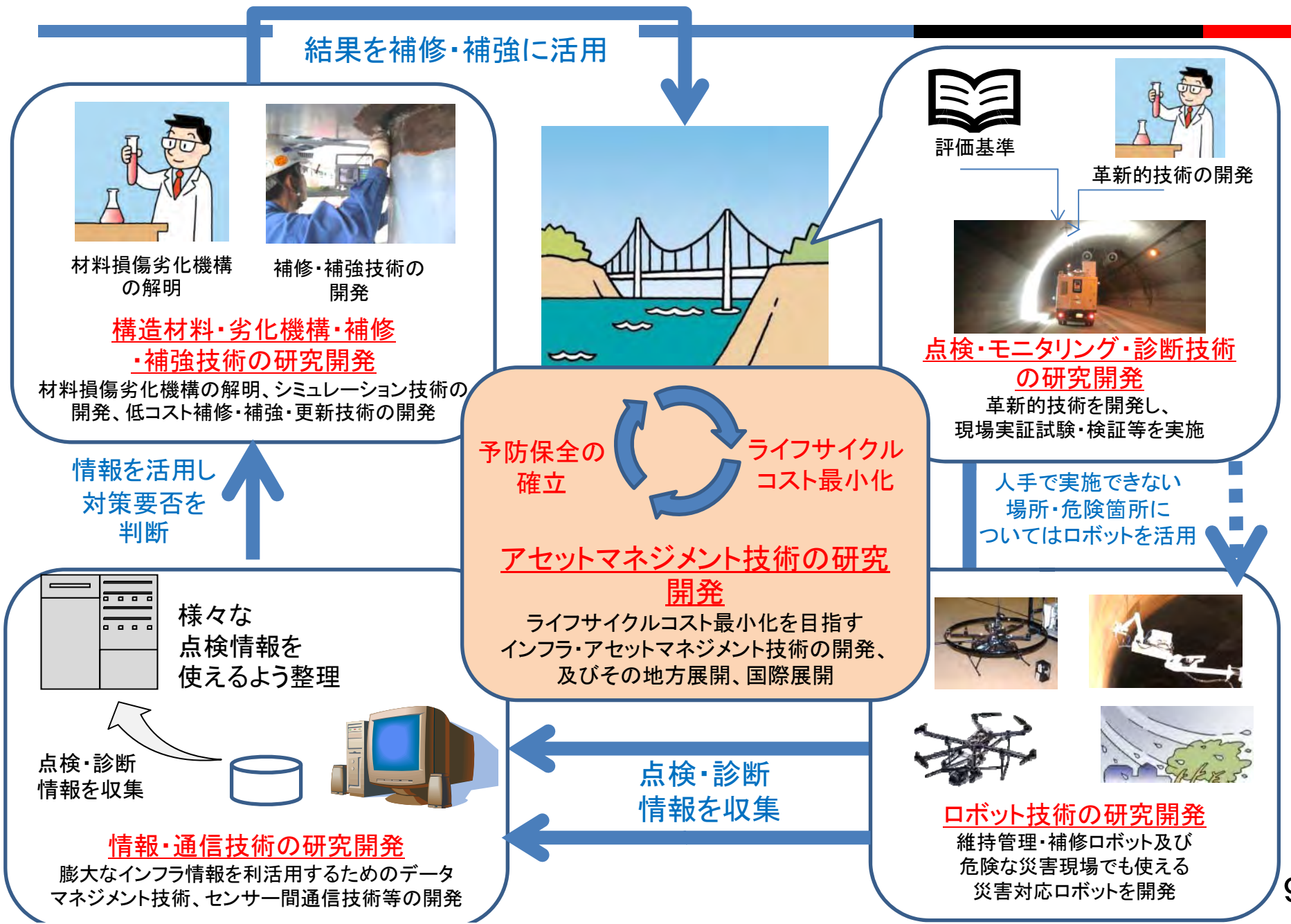
必要な制度設計 ⇒ **大ロット化, バンドリング化などの発注方式, 積算基準の見直し・出来高払いの移行・複数年度契約・多様な入札方式(CMr, PFI, PPP, コンセッションへの展開)**





End

SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」全体像



公募選定結果の全体像

SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」研究開発

